



地域を知ることの大切さⅢ(3年生)

12月6日(金)に、3年生が、潮見校区の伊予柑畑を見学しました。潮見地区は、市内でも有数の伊予柑の産地です。学校からも伊予柑畑を見ることが出来ます。宮内伊予柑の発祥地というのも、地域の誇りです。伊予柑畑の見学を通して、より地域のことを知ることができたので、子どもたちにとって世界が広がったのではないかと思います。これまで学習してきた伝統文化という面での地域のよさに加えて、産業の面もプラスされました。さらには、ジュース工場の見学とも関連付けることも出来ます。今回の学習で、「ふるさと潮見」にさらに興味をもつ潮見っ子が増えることを期待しています。



【伊予柑園を見学した後の感想】

🍊 今日は、伊予柑農園の見学に行きました。一番心に残ったのは、宮内伊予柑が初めてできた木を見たことです。一番目にできた宮内伊予柑の木の太さは、60cm~70cmくらいで驚きました。みかんを食べる獣は、ハクビシンとイノシシと鳥、サルだそうです。ハクビシンについてはあまり知らないので、調べてみたいです。農家の人たちは、長い坂道や下り坂を行ったり来たりしてみかんづくりを頑張っていることを知りました。

🍊 今日、伊予柑農園に行きました。一番心に残ったのは、宮内伊予柑の原木を見たことです。普通の伊予柑の木と比べると、宮内伊予柑の幹が太かったので驚きました。案内してくれた人から「宮内伊予柑の木は育て、70年経っているよ。」と聞いて驚きました。宮内伊予柑ができてからずっと、木を大切にしていることが分かりました。これからも宮内伊予柑を大切に、そのよさをみんなに知ってもらいたいです。



🍊 私は、今日、みかん農園に行きました。みかんのある場所は山なので、のぼったらみかんの皮などがありました。しばらくのぼると、みかんの木がたくさんありました。その中の一つは、普通のみかんの木より大きく、根っこもすごく太く、70年も経っているそうです。みかん農家では、働いている人は大体家族です。みかんの種類は60種類あります。みかんのおいしい見分け方は3つあって、1つめは、みかんのへた、2つめは、みかんの赤み、3つめは、みかんの切り口だそうです。山をおりるとモノレールがありました。最後に、レモンの葉っぱをもらいました。葉っぱはレモンのおいさがすごくしました。今日は、みかんのことをいろいろ知ることができました。



お忙しい中、個別懇談、大変お世話になりました。ありがとうございました。今後とも、潮見小学校の教育活動についてご理解、ご協力をお願いいたします。